



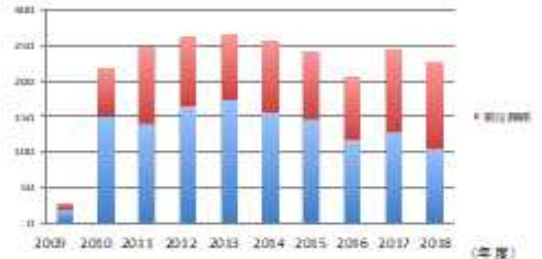
最善のロボット手術をめざして！

—前立腺がん—

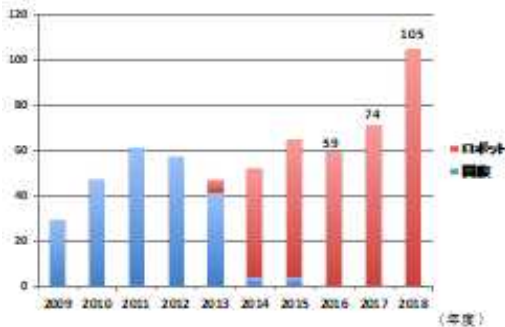
前立腺がんはご存じのとおり、PSAを測定し高値であれば、前立腺生検をして診断します。当科での前立腺生検の結果では、2009年10月から2018年12月までに、2202件施行し917例（35.7%）を癌と診断しています。

年度別生検数と前立腺癌数

前立腺癌数/生検数 917/2202 (35.7%)



前立腺全摘術数の変遷



当科では、1998年より前立腺がんに対する前立腺全摘術を開始し、2013年9月より手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』を使用したロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を開始しました。

手術件数は、年々増加しており2018年度は、105件の手術を行いました。前立腺全摘術は、がんを確実に切除することと、術後の尿失禁を最小限に抑えることが要求されます。これらは手術的に相反することであり、極めて繊細な手術手技が要求されます。

当科でも手術経験が増加するにつれて、それらの成績が向上し、**全国の著名な大学病院などと比べても遜色はありません。**

これからも、豊富な症例経験を活かし最善のロボット手術を目指していきます。

—腎臓癌—

以前腎臓癌は、血尿・疼痛・腫瘍を3大徴候とする疾患と習ったものですが、最近ではそのほとんどがエコーやCTで偶発腫瘍として発見されるようになってきました。そのため、小径の腎癌が増加しており、腎機能温存のために、病変部のみ切除する腎部分切除が標準術式となっています。

当科では、腹腔鏡下腎部分切除術について、積極的に腎温存手術に取り組み2016年9月より、『ダ・ヴィンチ』を使用したロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を開始しました。現在までに34例を経験し、癌制御や腎機能温存において良好な成績を得ています。

(文責 田中 宏和)

腎癌の3D-CT画像



腎癌手術数の変遷



ごあいさつ

泌尿器科部長の田中宏和です。1986年（昭和61年）神戸大学卒で、加古川には、1994年（平成6年）に当院の前身である県立加古川病院に赴任して以来25年間、加古川でお世話になっております。その間、泌尿器科分野においても、各疾患の治療方法、手術方法が大きく変化し、手術ではロボット手術が、がん薬物療法ではオプジーボが代表される免疫療法が主流となってきております。当科でも、2013年（平成25年）9月より前立腺全摘に、2016年（平成28年）9月より腎部分切除に、2018年（平成29年）6月からは、膀胱全摘にロボット手術を導入し、良好な成績が得られております。地産地消ではございませんが、遠い病院まで行かなくても加古川で、播磨地区で全国水準の治療が受けられるようにということをモットーに取り組んで参りました。

先生方におかれましては、多忙な診察業務の傍ら前立腺がん患者さんをはじめ、多くの患者さんをご紹介いただきましてありがとうございます。今後も、先生方のご期待に添えられるよう、今まで以上に研鑽を積んでまいりたいと思います。引き続きご指導、ご支援を賜りましたら幸いに存じます。

泌尿器科外来診察表

	月	火	水	木	金
1診	丸山	大場	田中	丸山	田中
2診		担当医			大場

※地域連携室からご予約いただくか、紹介状を持参して直接来院いただいても構いません。緊急時、お電話でのご依頼でも診させていただきます



県立加古川医療センター地域医療連携部
〒675-8555 加古川市神野町神野203
TEL: 079-497-7011（予約）
FAX: 079-438-3756

緊急時の医療機関専門ダイヤルもご利用ください

（緊急受診依頼・医師への相談）

079-451-7084

医師直通ではありません

土・日・祝日は当直医による対応となります